

臨床研究への御協力をお願い

「メトトレキサート(MTX)関連リンパ増殖性疾患の病態解明のための多施設共同研究」

よく免疫力が落ちると、風邪を引いたり病気になったりするということを聞かれたことがあると思います。ヒトの免疫系は体内の環境を一定に保つために、病原体などの外敵から守る防御機構として働きます。

本研究は関節リウマチ患者とリンパ増殖性疾患^(*)の関係が自己免疫異常に対するMTX治療による体内免疫系の環境の変化の中でとらえるとどうなるかを明らかにすることを目的とします。

対象は当院に通院、入院されているリンパ増殖性疾患を発症された関節リウマチ患者さんです。

具体的には、すでに診療目的で作成されたカルテ上の診療情報、特にリウマチ治療薬の薬剤情報、病気の診断に使われた病理プレパラートと呼ばれる試料を用いて解析を行います。

本研究は全国の国立病院機構における多施設共同研究で、個人情報の管理は厚生労働省、文部科学省から出された「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて適正に行います。全国の病院において多くの方を対象としますが、個人情報を特定できる情報は収集されません。

研究実施期間は2019年3月までで、患者さんのご希望があれば、この研究計画書及び研究方法に関する資料を入手または閲覧することができます。集計された結果は国内外の学会や論文誌上で発表し、研究に用いられた情報は研究終了5年後に廃棄致します。

本研究により対象患者さんに新たに何かをお願いすることはありません。また、皆さんの医療費の負担が増える事はありません。

不参加の意思表示は自由ですので、その旨下記の担当医あるいは主治医にお話し下さい。不参加でも今後の診療に不利益を被ることはありません。

ご協力、宜しくお願いします。

何かご不明な点がありましたら、下記の研究責任者あるいは主治医にご相談下さい。

分担研究責任者：横浜医療センター 臨床検査科・部長 新野 史
(045-851-2621)

研究代表者：大阪南医療センター 臨床検査科・科長 星田義彦
(0721-53-5761)

(*)リンパ増殖性疾患とは

体内のリンパ節やそれ以外の部位に免疫を担当するリンパ球が過剰に集まって塊を作る疾患。この中には経過をみて治る良性の疾患と、悪性の疾患の両方が含まれています。